

遺族の労災保険の請求等に係る労働基準監督署への相談勧奨等について説明している。

3 胆管がんに関する相談窓口の状況

厚生労働省及び産業保健推進センターの相談窓口寄せられた胆管がんに関する各種相談の状況は次のとおり。

胆管がんに関する相談窓口の状況

期間	合計	東日本	西日本	産業保健推進センター
7月12日～18日	301	84	162	55
7月19日～25日	132	48	69	15
7月26日～8月1日	105	39	49	17
8月2日～8日	47	17	22	8
8月9日～15日	23	8	12	3
8月16日～22日	24	9	11	4
8月23日～31日	20	8	9	3
合計	652	213	334	105

4 今後の対応

9月以降、各労働局において、有機則等の遵守についての集団説明会を開催するとともに、同説明会に出席しない等の事業場に対し個別指導等を実施していくことにしている。

平成24年8月28日
厚生労働省労働基準局
労災補償部補償課職業病認定対策室発表

胆管がんの労災認定に関する 検討会の開催について

1 検討会の名称

「印刷事業場で発生した胆管がんの業務上外に関する検討会」

2 検討会のメンバー

別紙[別掲]の8名の専門家

3 検討会の主な検討項目

- (1) 胆管がんの発症メカニズムについて
- (2) 事業場で使用された化学物質の発がん性について
- (3) 事業場で使用された化学物質のばく露量・ば

く露濃度の評価について

- (4) 事業場で使用された化学物質と胆管がん発症との間の因果関係について
- (5) 個別労災請求事案の業務起因性について

4 第1回検討会

- (1) 日時：平成24年9月6日(木)10:00～12:00
- (2) 場所[省略]
- (3) 議題

- ・個別労災請求事案の内容及び労働基準監督署における調査内容について
- ・胆管がんの発症メカニズムについて
- ・事業場で使用された化学物質の発がん性に関する文献調査について
- ・今後の検討事項について

5 その他

この検討会は、検討事項に個人情報等を含み、特定の個人の権利又は利益を害するおそれがあるため、原則非公開とする。(頭撮り可)

検討会のメンバー一覧

- 大前 和幸 慶應義塾大学医学部教授－衛生学(産業疫学、産業中毒学)
- 櫻井 治彦 公益財団法人産業医学振興財団理事長－公衆衛生学(労働衛生学、環境中毒学)
- 坂元 亨宇 慶應義塾大学医学部教授－病理学(病理診断学、腫瘍病理学(肝胆膵))
- 中沼 安二 金沢大学医薬保健学総合研究科教授－病理学(肝臓病理学、胆管病理学)
- 齋藤 英胤 慶應義塾大学薬学部教授－内科学(肝臓病学、消化器病学)
- 滝川 一 帝京大学医学部教授－内科学(消化器病学、肝臓病学)
- 白石 寛明 独立行政法人国立環境研究所環境リスク研究センターセンター長、化学(化学物質のリスク評価)
- 名古屋俊士 早稲田大学理工学術院教授－労働衛生工学(有機溶剤等の有害物質の濃度測定と評価)